

平成 26 年度第 2 回日進市地域公共交通会議 議事録

日 時 平成 26 年 8 月 11 日 (月) 午後 1 時 30 分から
 場 所 日進市役所本庁舎 4 階第 3 会議室
 出 席 者 松本幸正 (会長)、小塚みね子 (委員)、石川和美 (委員)、近藤繁久 (委員)、
 宇野公秀 (委員)、近藤誠 (委員)、岩月ミサヲ (委員)、芦田こまつ (委員)、
 大竹弘真 (委員)、古田寛 (代理)、多田直紀 (委員)、加藤直樹 (委員)、
 小林弘 (委員)、伊藤文貴 (委員) 山崎眞悟 (代理)、後藤英丸 (委員)、
 古橋昭 (代理)、近藤敦 (委員)、山内達郎 (委員)、堀之内秀紀 (委員)
 欠 席 者 寺田裕美 (委員)

事 務 局 市民生活部生活安全課
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 あり (2 名)
 報 告 事 項 (1) 平成 26 年度の運行状況について
 (2) 公募型プロポーザルの実施結果について
 議 題 (1) 日進市地域公共交通に関する総合的な計画策定調査事業について

そ の 他

発 言 者	内 容 (要 旨)
	開会
会 長	傍聴者が 2 名お見えになりますが許可してよろしいでしょうか。 (異議なし)
会 長	それでは、入室してください。 (傍聴者入室)
	会長あいさつ
会 長	本日は、日進市における地域公共交通の総合的な計画を策定する調査に関する議論をいただくこととなります。くりりんばすだけではなく、名鉄バス、鉄道、タクシーなどを含めた全体の計画を策定しようとするものです。計画を策定するうえで、市民ニーズの調査がまずは重要になってまいります。本日その中身について皆様方にご審議いただきますので、委員の皆様からの忌憚のないご意見をいただければと思います。
事 務 局	それでは、会長に議事進行をお渡しします。 (1) 平成 26 年度の運行状況について
会 長	報告事項の (1) について事務局より説明をお願いします。
事 務 局	報告事項の (1) 平成 26 年度の運行状況について報告いたします。 資料の 1 ページをご覧ください。

発 言 者	内 容 (要 旨)
	ほとんどのコースで、利用者数は昨年度の実績を下回っています。特に減少が著しいのは東コース、中コースです。 資料の2ページをご覧ください。 利用者数の減少を受け、運行収入も昨年度実績を下回っています。
会 長	何か質問はありますか。
委 員	利用者、運行収入の減少理由は何ですか。
事 務 局	減少理由は、現時点でわかりません。今年度実施する調査により、原因を捉えることができると考えています。
委 員	参考ですが、愛知学院大学の学部が一部移転により、学生数が約2割減となっています。名鉄バス愛知学院線については、平成26年4月から6月までの集計ですが、前年比約8%の減少です。また、東コースの路線が重なる名鉄バス名商大線については、原因不明ではありますが13%の減少です。 消費税率の改正による料金改定の影響があるかもしれません。
会 長	大変心配ではございますがもう少し状況を見ながら打つべき手があれば打っていきたいという事をお願いしたいと思います。
	(2) 公募型プロポーザルの実施結果について
会 長	報告事項の(2)について事務局より説明をお願いします。
事 務 局	7ページをご覧ください。今回実施をしました審査結果は、表記のとおりです。 株式会社国際開発コンサルタンツ名古屋支店が最優秀提案者として選定されました。なお、前回の会議におきまして、選定方法等について、会長及び事務局に一任することを了承していただいておりますので、選定方法についてご説明させていただきます。 3ページをご覧ください。選定委員会設置要領であります。委員の構成としましては、学識経験者、区長会代表者、日進市老人クラブ会長、日進市地域女性団体連絡協議会長、愛知県地域振興部交通対策課主幹、日進市副市長とさせていただきます。 4ページから6ページをご覧ください。こちらは、今回のプロポーザルに係る選定方法、配点表等を示させていただきます。幅広くご提案をいただくため、合計600点満点中、事前提出書類の評価配点を120点と、全体の20%としたのに対し、当日の提案内容を480点と割合を高くいたしました。
会 長	何か質問はありますか。
	(特になし。)
(議 題)	(1) 日進市地域公共交通に関する総合的な計画策定調査事業について
会 長	続いて議題へまいります。事務局より説明をお願いします。
事 務 局	(資料に沿って説明)
会 長	何か質問はありますか。
委 員	調査票設計についての比較の欄に三角としているのはどういう意味ですか。

発 言 者	内 容 (要 旨)
事 務 局	平成21年に実施しました「くるりんばすの再編に関する住民意識調査」の際に満足度はお聞きしましたが、重要度をお聞きしていない項目を三角としました。
委 員	タクシーの通常利用の満足度等の調査だけではなく、子育て目的などの特定の利用に係るニーズ調査も必要ではないでしょうか。また、デマンド型交通を考えたときに、通常、バスまでの需要がないところに、タクシー車両などの小型車両を使用した運行が考えられます。そのニーズ調査もよいかと思われます。次に、移動困難者に関するニーズ調査については、非常に広範囲になると思われます。どのような観点で調査を行われるのか重要だと思います。福祉政策の中で、どのように日進市が考えているのかも重要だと思います。
事 務 局	どのような方々がどのようにタクシーへの需要があるか把握に努めたいと思います。また、デマンド交通については、県内でも試験的に導入している自治体もありますが、運行の仕方やその仕組みが本市の状況に合致するのか、また、市民の皆様へのニーズがあるのかどうか、制度周知を含めて、調査項目として記載しています。最後に福祉政策との兼ね合いにつきましては、福祉有償運送と地域公共交通の領域をこの調査において明確化し、役割分担をすることが重要と考えています。
委 員	福祉タクシーという介護タクシーみたいなものが結構ありますけど費用がまちまちで、位置づけがどうなっているのか、もう少し具体的に教えていただくとありがたいです。
会 長	福祉有償運送というのは別途特別な仕組みがあり、登録した会員の方だけが使え、比営利団体が運行しているタクシーで、普通のタクシー運賃の半額くらいで利用できます。但し目的地が非常に限られる等の条件があります。それとは別途、民間のタクシー会社さんがやっている介護タクシーがあります。
委 員	<p>福祉有償運送は、NPO法人が登録を受けて実施している事業で、自分で移動できない方を対象に会員として、タクシーの半分程度の運賃で移動サービスを提供していくというものです。</p> <p>タクシーは、一般のものでも2種類ございます。その多くは街中で手をあげて止めるものや駅に停まっているものです。これらの多くは車イスに乗ったままでは使えませんが、もう一つ、ユニバーサルタクシー、UDタクシーといいまして、今後は今のセダン型のタクシーはメーカーが作らないと言っていますので、あと10年ほどするとタクシーは様変わりすると思います。自動車メーカー各社が新しくUDタクシー用の車両を作っていくということです。当然環境に配慮し、車イスで直接利用することが出来る車両です。</p> <p>これら一般タクシーとは違うものとして、一般のタクシー会社よりも小規模で移動制約者・困難者のみを輸送する、当然車イスやストレッチャー設備を備えたタクシーがありまして、車両や輸送の対象それぞれに運賃料金の体系が違うので一概に料金だけを比べて高い安い、違うという事ではなく、タクシーの車両の形状や許可のあり方も含めて総合的に判断いただきたいと思います。</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
委 員	<p>もしこういう事が実現できるのであれば、どこか1ヶ所にステーションがあるといいですね。そこに電話すれば契約が取れるとか迎えに来ていただけるとか送迎の約束が出来るとかそういう仕組みが今は無いような気がするので、公共交通を名乗るならばやっぱりどこか取次場所が明確になったものを位置づけられると話がもう少し進むという気がします。</p>
委 員	<p>大変、的を射たご指摘だと思います。現状はタクシー事業者ないしは福祉輸送事業サービスが個別に行われているのが実態であり、これらをいかに統合するかという事だと思います。福祉有償運送を自家用車でやっている部分については仕組みが全く違いますし、介護保険の関係なども含まれますので、それを全て取り込むのはなかなか難しいと思います。けれども、全国的にみても多くありませんが、岐阜県の方では共同受注センターが現実には運営をされています。</p> <p>利害関係の問題を課題としつつ、サービスの集約を図るという方向性はあるかもしれませんが、需要予測も合わせて考えていかないと事業として成り立たないこともあります。</p>
会 長	<p>タクシーを利用する際の不満や改善点に予約の仕組みも入れたらいいと思います。特に福祉関係が中心だと思いますが、こうした仕組みがあると良いですね。</p>
委 員	<p>アンケートを行ううえで、こんな乗り継ぎができる、こんな路線があるといい、等、答えやすい記述があるとよいと思います。</p> <p>また、利用する側の立場に立ったアンケートになっているのかどうか、見直しをしていただけるといいと思います。</p> <p>名鉄を批判するわけではありませんが、赤池駅を過ぎると急に高くなるということをよく聞きます。例えば赤池から日進高校までの路線を作ったら利用者が増えるのか、とか、逆に米野木駅や日進駅から乗り継いでも非常に安価に行けるようになるのか。名古屋市の人でも日進高校に通えますが、交通費が高いことに抵抗があるわけで、市内の学校を擁護するような配慮があってもよいと思います。</p> <p>次世代を担う青年を培うという視点がない気がします。雨の日でも自転車で高校に通う姿を見ると事故にならないかと心配しています。人の命を一番大切にす、子供を育てる視点から、なにかいいアイデアを出せばとても有意義な議論になると思います。</p>
事 務 局	<p>アンケートを作成するうえで、工夫していきたいと考えています。</p>
委 員	<p>日進市だけに捉われるのではなく、広域で検討していただきたいと思います。</p>
事 務 局	<p>今回策定する計画では、面的な公共交通ネットワークの形成が目的の一つとなっています。本市には、赤池、日進、米野木の3駅と、隣接する長久手市にはくるりんばすが乗り入れている長久手古戦場駅があります。鉄道等を利用した乗継も含めて調査したいと考えています。</p>
会 長	<p>高校への足の確保はひいては日進市の発展につながっていく、あるいはそこに若者たちが集まってくるという話かと思います。それは大学も一緒だと思ってい</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
	<p>ますし、あるいは日進市にあるいろんな施設に関しても同じようなことが言えると思います。実は交通とまちづくりの連携とはこうしたところにあると思いますが、これまでの日本では、特に交通の場合、交通事業者が主に営利事業としてやってきて、そこに行政が税金を投じて運賃を政策的に下げることができてこられませんでした。今でも現実に実施するには難しいと思います。しかし、行政に意向があり、財源的にも余裕があるのであれば是非やってもいいと思います。</p> <p>我々の税金をその目的に本当に使っているのかという大きな視点での議論が必要だと思います。交通事業者に運賃を安くしろなんてことは無理だと思っていますので、結局我々が払っている税金を投じるべきかの判断になると思います。</p>
委 員	<p>市内の学校に通っているお子さんたちが日進市に通って勉強して良かったと思うことで、将来日進市に住んでみたいという気持ちになれば、これは一つの成果だと思います。人に好かれるまちづくり、生き生きと活動できる様なまちづくりをしていく点で、人の移動が非常にスムーズにいくようにしていくことが重要だと思います。そこに先行投資として税金をつぎこむということは決して悪いことではないと思います。それ以外にもつぎこんでいる税金がたくさんあるのですから少し視点を変えてみたらもっと良いまちが出来るかもしれないのでご検討いただけるとうれしいなと思います。</p>
会 長	<p>個人的には大変うれしいご意見だと思っております。そういうことが出来たらなと思いますが、これは流石に交通会議だけで決めることは難しいと思います。</p> <p>今でも、くるりんばすだけの運行に1億2～4千万の税金を投じていますので、さらに民間路線バスの運賃軽減を税金で負担するとなると、とてつもない額になるわけで、簡単はいかないだろうと思います。</p>
委 員	<p>バス停の待合環境、特に市役所やにぎわい交流館での待合環境の整備を望みます。</p>
会 長	<p>是非できると良いと思います。</p>
委 員	<p>別の地域ですが、高校の通学にあわせて走らせた路線でも、なかなか利用が伸びなかったという実績もございました。どのように運行したら、バスに乗っていただけるかという観点でアンケートを実施していただきたいと思います。</p>
会 長	<p>先ほどの話で、高校生は雨の中自転車がかわいそう、とのことでしたが、実は彼ら自身はなんとも思っていないで、バスを待つより雨に濡れて帰った方が良さそうなのです。彼ら全部とは言いませんが、多分男子生徒はバスに乗るという選択肢がないのですね。濡れても気にならない。一方、女子生徒は雨の日はバスに乗るのではないのでしょうか。</p> <p>そのためか、くるりんばすでも女子生徒は結構乗っていますが、男子生徒はほとんどいない。彼らの距離感や雨に濡れる事への捉え方は、我々大人とは違うのです。だから、高校までバスを走らせたのになかなか乗ってもらえないということになるのだと思います。</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
委 員	<p>日進市の地域性で車がないと生活ができないという方がたくさん見えます。そのためかなり高齢の方でも車を運転しています。</p> <p>特に農業に従事している方は車がないと生活できないというのが現状で、免許書を自主返納することによって生き甲斐を奪ってしまうということもあります。視力や身体能力の衰えに応じて自主返納をして頂きたいですが、あくまでもご本人が返納しない限り強制的に返納することはできません。</p> <p>日進市は、幸い事故全体でも高齢者の方は1割に満たないです。市では高齢者の返納事業を積極的にやってもらっていますが、地域性で高齢者も車がどうしても必要だという面もあると思います。</p>
委 員	<p>可能な限りでいいのですが、日進市周辺の商業施設の開発計画も調査の段階で開示できる情報があればお知らせしておく、将来的なアクセスを考えた時には参考になると思います。</p>
会 長	<p>色々なご意見、ご要望をいただきました。これらを踏まえ、最終的には、調査内容につきまして、会長・副会長・事務局に一任いただくこととしてよろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>(異議なし)</p>
会 長	<p>それでは、調査事業を進めさせていただくこととします。</p>
会 長	<p>以上で、終了となります。皆様のご協力に感謝します。</p>
	<p>(閉会 15時30分)</p>